画像のサイズを変更する



「挿入した画像が大きすぎて見にくい」ときは、画像のサイズを変更しましょう。

ログインし、セッティングモードに入ります。

編集したい記事を表示します

記事の左下に、[編集|削除]の表示がありますので、「編集」をクリック



学校ホームページの記事は、簡単なスタイル【編集タブ】と、 コードを入力して書く【HTML タブ】から書くことができます。



【編集タブ】では、プレビューを見ながら編集するように、記事を書くことができます。

この記事を【HTMLタブ】で見てみますと、このようになっています。

「「」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」	
<img <="" style="border:0px solid rgb(204, 204, 204);float:none;" td="" title=""/> <td></td>	
alt="" src=" (ここには、画像の URL が表示されます ※URL は自動作成) " vspace="0"	
hspace="0" />	

シンプルなのですが、画像がアルファベットや数字で表示されて、ぱっと見ただけではわかりません。

HTML タグは、<>で囲って表記されます。 画像や PDF ファイルを挿入したものは、HTML タグではこのようになっているのです。

さて、先ほどのHTMLタグを簡単に分解してみます。 (必要なところだけ、簡単に、です)

最低、これだけでも画像の表示はできます。

今回は、『画像のサイズを変更したい』なので、 この画像を小さく表示するようにタグを加えます。

<img <br="" title=""/> style="border:0px solid rgb(204, 204, 204);float:none;width:400px;" style の括りに加えます alt=""
STC="(ここには、画像の URL が表示されます ※URL は目動作成) "
vspace="0" hspace="0" /> ※ わかりやすいようにわざと改行しています ※

width は幅、単位は px (ピクセル)で表記します。 コロン (:)、セミコロン (;)を忘れずに。【※HTML タグはすべて半角です】

400 という数字はサンプルなので、数字を変えてみて調整してください。 これは写真画像にも適用できます。 元の画像より大きく表示させる場合は、画素が悪くなりますのでご注意ください。